

齊藤邦明 議長と松澤正 副議長に聞く

政治家を志したきっかけをお聞かせください。

齊藤邦明議長 ▶ 幼稚園へ通っていた頃に祖父からもらった国会議事堂の描かれた小銭入れがきっかけのような気がします。その際、父から国会の役割などを教えてもらい、子どもながらに興味を持ち、後に児童会長や生徒会長を経験しました。

20代後半には通信制高校の教員として働き、不登校や非行などの困難を抱える生徒と向き合いました。そのような経験から、家庭や社会が抱える問題を政治の力で解決していきたいと思うようになり、町議会議員に挑戦することから始めました。

松澤正副議長 ▶ 平成16年の吉川市議会議員選挙に地域の方々からの薦めで初めて出馬したことがきっかけ



齊藤邦明議長

です。父は自治会長や市内の連合会長を務めており、母も今で言う地域女性部の会長をやっていたので、両親から影響を受けたという部分も大きいです。

大切にしている言葉は何ですか？

齊藤邦明議長 ▶ 「泣いても1日、笑っても1日」という言葉です。同じ24時間を過ごすのなら、嫌なことや大変なことがあっても、笑って過ごしたいと考えます。大人になっても失敗から学ぶ日々ですが、くよくよしたり、ふさぎ込んだりせず、笑顔でいるよう心がけています。

松澤正副議長 ▶ 「大きなあれ、身も心も」です。市議会議員になる前に教員をしていたり、学習塾で教えたりしていました。教え子たちが卒業するときには



松澤正副議長

この言葉を贈っていました。体が大きくなるだけではなく、心もそこにしっかりとついていって育ってほしいなという思いが込められています。

今後の抱負

齊藤邦明議長 ▶ 県民の代弁者である議員がさまざまな意見をより積極的に発言できるよう公平公正かつ円滑な議会運営に努めてまいります。本県の未来の可能性を広げるためにも、小さなことでも構いませんので、地元の議員にいろいろとご相談ください。議会の力で、より良い埼玉をつくってまいります。

松澤正副議長 ▶ 一番の基本は県民の皆さまの生活のために活動しているということを念頭に置いています。また、今後は若い世代に政治に関心を持ってもらえるようにしていく必要があります。二元代表制の一翼を担う議会が、その役割と責務を果たせるよう、議長と協力して微力を尽くしてまいります。

委員会リポート

7月1日に常任委員会を開き、条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案5件を原案の通り可決、1件を承認、1件を修正可決すべきものと決定しました。また、請願1件を不採択とすべきものと決定しました。

7月3日に特別委員会を開き、付託案件の審査を行いました。

議会運営委員会

6月10日と定例会中の4日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。



渡辺 大副委員長



宇田川幸夫委員長



安藤友貴副委員長



常任委員会

委員長報告は
こちら



企画財政委員会	「投票率の向上」などについて審査
総務県民生活委員会	「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などについて審査
環境農林委員会	「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」などについて審査
福祉保健医療委員会	「埼玉県衛生試験等手数料条例の一部を改正する条例」などについて審査
産業労働企業委員会	「中小企業の賃上げ状況」などについて審査
県土都市整備委員会	「国土強靱化に係る県土整備分野での取組状況と今後の展望」などについて審査
文教委員会	「第4期埼玉県教育振興基本計画の策定について」などについて審査
警察危機管理防災委員会	「SNS型投資詐欺の現状と対策」などについて審査

特別委員会

委員長報告は
こちら



自然再生・循環社会対策特別委員会	河川環境の保全・共生について審査
地方創生・行財政改革特別委員会	地方分権改革、魅力ある地域づくりについて審査
公社事業対策特別委員会	県の公社指導及び(公財)埼玉県産業振興公社、(公財)埼玉県公園緑地協会、埼玉県住宅供給公社における改革の取り組みについて審査
少子・高齢福祉社会対策特別委員会	障害者への支援について審査
経済・雇用対策特別委員会	埼玉県経済の動向と経済・雇用対策について審査
危機管理・大規模災害対策特別委員会	大規模災害時の対応について審査
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会	教育改革について審査

シェイクアウト埼玉にぜひ参加登録をお願いします。

シェイクアウト訓練とは

県内一斉防災訓練



2008年にアメリカカリフォルニア州で始まった短時間で、誰でも、どこにいても実施できる防災訓練です。それぞれの自宅・学校・職場などで訓練を実施してください。

- 実施期間:令和6年8月30日(金)~9月5日(木) ※期間中、ご都合のよい日時で実施可
- 実施場所:あなたがいるその場所で

シェイクアウト訓練のあとは

プラスワン

- 災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用
- ハザードマップの確認
- 避難経路の確認
- マイ・タイムラインの作成
- 避難場所の確認
- 備蓄品の確認 など

参加方法① 電子申請サービスで登録

パソコン・スマートフォンからお申し込み下さい。



参加方法② FAXで登録

登録様式は埼玉県議会ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入のうえ、FAXで送信してください。

埼玉県議会事務局総務課 総務・IT・情報公開担当 FAX 048-830-4921



埼玉県議会ホームページ「シェイクアウト埼玉」で検索! 詳細はこちら



再生紙を使用しています。